

成果報告書（市区町村用）

文化部活動の地域移行に向けた実証事業

自治体名・担当部署	北九州市・教育委員会生徒指導課		
所在地	福岡県北九州市	運営形態	・地域移行・団体等運営型
本事業に関する市区町村としての取組・考え方	人口の減少に伴い、部活動を維持していくことが難しい中、生徒にとって文化芸術に親しむ機会の確保や、教員の働き方改革の視点から、持続可能な部活動の地域移行を推進していくためのモデル事業を実施する。		
運営主体	地域マンガクラブ（地域団体） 地域吹奏楽クラブ（大学）		
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・文化部活動の開設数の少ない地域を中心とした文化芸術活動を行う機会の創出 ・本市の特色、文化を活かした民間企業等と連携したクラブの創出 ・地域人材の育成及び指導の質の向上 		
団体・組織等の連携	<p style="text-align: center;">業務委託</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 20px;">北九州市教育委員会</div> <div style="text-align: center; margin-right: 20px;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 20px;"> ・株式会社 COLT ・九州国際大学 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 20px; background-color: #f0f0f0;"> <p style="margin: 0;">【委託内容】</p> <p style="margin: 0;">(1) 講座内容の企画・立案に関わること</p> <p style="margin: 0;">(2) 講座の実施に関わること</p> </div> </div>		
運営・協議会等スケジュール	なし		
活動種別	地域マンガクラブ（美術） 地域吹奏楽クラブ（吹奏楽）		
活動スケジュール	基本活動日	<ul style="list-style-type: none"> ・地域マンガクラブ 月4回程度 土曜日または日曜日、祝日 年間20回 ・地域吹奏楽クラブ 週2回程度 木曜日と土曜日または日曜日、祝日 年間20回 	
	年間	<ul style="list-style-type: none"> ・地域マンガクラブ 7月募集開始 8月説明会 9月活動開始 2月活動終了（保護者向け展示会） ・地域吹奏楽クラブ 10月募集開始 11月説明会、活動開始 2月活動終了（保護者向け発表会） 	
活動場所	<ul style="list-style-type: none"> ・地域マンガクラブ 北九州市漫画ミュージアム ・地域吹奏楽クラブ 九州国際大学 		

移動手段	生徒	公共交通機関、保護者送迎等
	楽器等用具	活動地以外での活動は予定していない。
参加者	学校名、人数等	(地域マンガクラブ) 湯川中学校、大蔵中学校、田原中学校、富野中学校、上津役中学校、洞北中学校、志徳中学校、広徳中学校、曾根中学校、早鞆中学校 各1名、板櫃中学校3名 合計13名 (地域吹奏楽クラブ) 上津役中学校、千代中学校、引野中学校、穴生中学校 各1名、黒崎中学校3名 合計7名
	募集方法	学校を通じ募集をかけ、本人が直接応募する。
指導者	属性、人数等	・マンガクラブ マンガ家2名 アシスタント2名 ・吹奏楽クラブ 顧問1名 アシスタント（大学生）9名
	募集方法	委託先に所属しているため、教育委員会は募集はしていない。
活動費用	指導者謝金等	(地域マンガクラブ) マンガ家 謝金6,000円/時間 交通費500円/回、アシスタント 謝金1,500円/ 時間 交通費500円 (地域吹奏楽クラブ) 顧問 謝金2,000円/時間 交通費500円/回、アシスタント（大学生）謝金 1,600円/時間 交通費500円/回
	その他	
活動財源	会費等	保護者負担 ・地域マンガクラブ 年間1万円程度 ・地域吹奏楽クラブ 年間1万円程度
	その他	
保険加入等		スポーツ安全保険（指導者800円/年、生徒800円/年）
ヒアリング、アンケート等実施 ※集計結果等があれば別紙で提出ください		https://www.city.kitakyushu.lg.jp/files/001067268.pdf 容量が大きいためURLを貼っています

○本年度の取組み状況の概要

ア:関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

・運営団体と定期的な協議会を行い、生徒に関する情報や指導法などを共有
・検討会議を開催し、どのような団体であれば実施主体となり得るかについて、意見を聴取

イ:指導者の質の保障・量の確保

・吹奏楽については、大学吹奏楽部顧問だけではなく、大学生も指導者としてすることで、人材の育成を図った。
・マンガについては、漫画ミュージアムや民間企業と連携し、地域文化に根差した人材のマッチングを行った。

ウ:関係団体・分野との連携強化

・大学・民間企業と連携し、運営を行った。

オ:内容の充実

・吹奏楽、マンガのいずれも、初心者でも参加しやすい内容のプログラムで活動を行い、これまで触れる機会のなかつた文化芸術に親しむことができるよう内容の充実を図った。

キ:活動場所等の確保

・吹奏楽は楽器、場所が必要であるため、大学の吹奏楽部の練習場を借り活動を行った。
・マンガは北九州市漫画ミュージアムと連携し、施設を利用した。

○地域クラブ活動の概要

「地域吹奏楽クラブ」

楽器の演奏や他者との合奏などの音楽活動を通して感性を働かせ、豊かな心を育むとともに、活動の中で出会う大学生やプロの演奏家との関わりの中で、自己のキャリア等について考える機会とする。

「地域マンガクラブ」

プロの漫画家との出会いや関わりの中で、感性を働かせて制作活動を積み重ね、本市の特長である「ポップカルチャー」を体感するとともに、豊かな心を育む。

○本事業による成果

- ・文化部活動の開設数の少ない地域を中心とした文化芸術活動を行う機会の創出し、本市の特色、文化を活かした民間企業等と連携したクラブを創出をすることができた。また地域人材の育成及び指導の質の向上も図ることができた。

○児童・生徒への指導に関する工夫

※顧問と地域指導員の連携や指導方法の共通認識に関する工夫も含めて記入。

- ・初心者でも理解しやすいプログラムで活動を行い、活動の成果としての発表の場を設けた。

○運営上の工夫

※活動場所に中学校など学校施設を利用している場合の校舎・鍵の管理の現状・工夫も含めて記入

- (吹奏楽)大学生が指導するため、実施条件として顧問がいる場合に限り実施にした。
- (マンガ)出欠の確認など保護者との連絡に関して、SNSアプリを導入した。

○本事業における実証結果や成果の評価・分析

- ・生徒、保護者にはおおむね好評であり、今後も持続して活動を行いたいとの声があった。目標であった「文化芸術活動を行う機会の創出」、「本市の特色、文化を活かした民間企業等と連携したクラブの創出」は果たすことができた。

○現状及び継続的な運営に関する課題

- ・活動を行っていくうえでの受け皿の数、指導者の質と量の確保が課題となっている。また、謝金単価や受益者負担についてもしっかりと説明を行っていくことが必要である。

○令和6年度以降の学校部活動の地域移行に関する方針・計画

令和5年度に実施した中学生及び保護者へのアンケート調査では、地域移行を望む声は1割程度であり、部活動地域移行の必要性等が浸透していないことがわかった。そのため、令和6年度は、シンポジウムの開催等で部活動地域移行の必要性を周知するとともに、地域の理解を深めるための取組を行う。また、コーディネーターを配置し、指導者の確保について、地域の各種団体にさらなる協力や支援を求めるとともに、人材バンクの設置に着手する。指導者間の連携の在り方や地域との連携の在り方、保護者の費用負担の在り方等について、検証したいと考える。さらに、推進計画を策定し、ガイドラインの改定を行う。

【活動の様子（写真添付）】

地域マンガクラブ



地域吹奏楽クラブ

